# 令和８年度　まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

| | |
|---|---|
| 会 議 名 | タウンミーティング【手をつなぐ育成会】 |
| 開催日時 | 令和８年９月 24 日（木）午後１時 30～３時 |
| 場　　所 | 川島町役場　２階　大会議室 |
| 公開・非公開の別 | 公　　開　・　非公開　・　一部公開 |
| 非公開の理由（非公開の場合のみ） | 個人を特定する情報については非公開とする<br>「まちづくり懇談会実施要領」<br>10　懇談内容の公表<br>町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。 |
| 議題 | 子ども達が住み慣れた川島町で元気に安心して暮らしていけるように<br>① 防災に関して（防災カード・災害時等）<br>② 雇用・開発に関して<br>③川島町全体のこれから |
| 出 席 者 | 団体：手をつなぐ育成会 16 名　社会福祉協議会<br>町：町長、総務課、健康福祉課、秘書室 |

**【懇談内容】**

①防災に関して

団体：災害時の避難所開設に、町職員ほか、民生委員などにお願いして、できる部分は地域主導で避難所を運営してもらえるよう訓練にも盛り込んでいる。事前の情報共有と訓練が重要と去年、お話しくださいましたが、実際の動きはありますか？

町長：災害は、いつ、どこで発生するか分からないため、職員がいち早く避難場所に駆け付けられるとは限らない状況です。町としては、防災訓練を通じて、区長や民生委員、班長の方々にも避難所の開設訓練を実施していただき、地域の方々が主体となって避難所を開設・運営できる体制づくりを進めています。

また、特定の職員がいなくても避難所を開設できるよう、開設手順やマニュアル等（避難所開設スタートキット等）を再整備することも検討しているところです。

現在、防災訓練は地域ごとに順番でやっていますが、参加者は役員の方が中心になってしまいます。フェスティバルのような見せる訓練がいいのではと考えています。来年度以降、防災訓練の見直しも行ってまいります。

団体：役場職員の皆さんが、障がいのある本人と対面で関わるということは一部の方のみで、なかなかありません。災害時の避難所でどの職員の方が担当であっても、

関わったことのあるなしでは違う気がします。職員の研修の１つとして、障がいのある人との交流のようなものや、福祉施設の避難訓練等に参加するなどの機会があればと感じています。

町長：障がいのある方に対して、福祉避難所を民間に委託していますが、職員もある程度想定していないと無駄になってしまいます。福祉施設の避難訓練はぜひ一緒にお願いします。のびっこで実施するときなど、お声をかけてくだされば職員も参加するようにいたします。

団体：防災カード活用方法の改善について、進展はありましたか？

町長：防災カードの活用は個人情報保護で難しくなっているのが現状です。皆さんにご理解をいただいて情報共有をして作成していく必要がありますが、様々なご意見があり、一概にはいかない状況です。災害時、公助はすぐできるものではありません。地域で差が出ており、役場が持っている情報だけではなく、民生委員・区長などと協力して情報共有を行っていきたいと考えています。
広報かわじまでも特集しましたが､情報共有にSNSを使っている地域もあります。特に中山地区は積極的に進めており、SMS（ショートメッセージサービス）で地域全員の安否確認を行えるシステムを構築しています。
防災対策はこれができたら安全というわけではありませんので、皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。

団体：町のホームページで災害時の河川の情報を発信しているが、国土交通省のホームページにとぶように設定されている。町のホームページですぐ見られるようにしてほしい。

総務課：リンクを貼るよう対応します。

団体：自分の判断で逃げるのが一番とわかっているが、実行に移すのは難しい。早めに避難の情報を流してほしい。

町長：防災に関するアンケートで町外避難をすると回答した方は７割でしたが、おっしゃるとおり判断は難しいと思います。町では、内水を見ながら判断し、情報発信をしています。土地柄、土砂災害はありませんが、レベル４が出たときに避難するなど、家族で事前に話し合いをお願いします。

②雇用・開発に関して

団体：今現在、役場での障がい者雇用は何人いますか？業務内容と雇用形態を教えてください。

町長：９月１日現在、８名の職員について障がい者手帳の交付を確認しています。そのうち、５名が正職員、３名が会計年度任用職員です。ほとんどの職員が一般事務職として業務を行っています。

団体：農福連携構想を公約に掲げ、請負先を探し、廃校施設の活用や休耕田の再生などで実現したことや計画されている事を教えてください。

町長：廃校施設の活用については、事業者を募集し事業提案の精査を行っているところです。小学校は学校として建てられており、学校以外に活用するというのはハードルが高く、町が所有していても資産活用は難しいため、お金を出してでも民間に使用してもらうことも視野に入れて進めております。現在、学校として使いたい、農業用の施設として使いたいなどの希望があり、法律的にも町にとってもいいのかどうか検討をしているところです。資産活用が軌道に乗れば、農福連携も含めて活用を進めていきたいと考えております。

また、休耕田に関しては、高齢化、後継者不足など、喫緊の課題として捉えております。町の大規模農家は 15%ほどで、農業生産法人だけで町の農地を管理するのは難しいのが現状です。農業が儲かれば若い方に就農してもらえるので、スマート農業など、儲かる農業を模索しているところです。田んぼは自然の遊水地。守っていかなければと考えております。

団体：インター南の開発について

町長：インター南側地区の開発に伴い、道路規制などが始まっているため、ご迷惑をおかけしております。少しの間、ご理解をいただきたいと思います。

進出企業としては、８月に「めんたいパーク」の進出が決定し、公表させていただきました。今後、可能な限り生産工場系を誘致したいのですが、半分は流通系になってくると思います。

また、インターの近くにルートインホテルも建設予定です。10 階建て、256 室。圏央道沿線に初のビジネスホテル建設ということで、需要が高いと期待しています。

団体：町の雇用について

町長：雇用枠は延びていますが、川島町枠として募集しても町民の方の応募がないと伺っています。

団体：雇用はあるが人口が減っているのは？

町長：人口減少は全国的な問題で、特に生産年齢人口が減っているのが問題になってい

ます。第１次・第２次ベビーブームがあり、第３次は来なかった現状を、国は分かっていても対策してこなかったことが問題。経済的にも、円安のため日本の価値が下がってきています。

団体：地域公共交通について
町長：皆さんの意見をお伺いした中で実施しておりますが、以前、かわみんタクシーで台数確保のため委託業者を増やしたところ、利用率が上がらなかった経緯があります。需要が高まればまた対策を検討してまいります。

団体：新ゴミ処理施設が建設されると聞いていますが、完成予定はいつ頃ですか？
町長：2033 年（令和 15 年）の稼働を目指しています。農福連携として、新ゴミ処理施設の処理熱を近隣の農地に有効活用したいと考えております。

③川島町全体のこれから
団体：ワンストップ窓口について、改善してもらって窓口対応がよくなった。
町長：ありがとうございます。

団体：福祉の充実に全力で取り組んでいただきたい。
町長：できることは積極的に進めてまいりたいと考えております。

団体：町の特産品はお米だが、いちじく・イチゴは有名とは言えない。
町の特産品をどのように活用していくのか。
町長：今までは歳出を削減することを考えていましたが、これからは歳入を増やすことを考えています。一番はふるさと納税。海産物・お肉・お酒などの特産品がないので難しいですが、一般社団法人さまちかと検討し、需要に合わせて作ればいいとも考えています。

団体：古民家がオープンしたが障がい者用のスロープがなく、車いすで行くことができない。スロープをつけてもらえないか。
町長：車いす用階段昇降機を町で購入しましたので、必要な場合は対応させていただきます。